

# Q&A

## お申し込みについて

Q1：参加対象は酪農家だけですか？

A1：酪農家の6次産業化の取り組み支援を目的とする事業のため、酪農家の方を優先させていただきますが、特定の酪農家や特定の地域の生乳のみを使用している（製造を受託している）工房、農業高校や大学等も対象とします。

Q2：申し込めば必ず参加できますか？

A2：申込書にご記入いただいた内容（取り組み状況等）をもとに、参加者を選考いたしますので、参加できない場合もあります。  
なお、選考漏れの理由はお答えできませんのでご了承ください。

Q3：事業は本年度だけですか？

A3：事業は令和7年度と令和8年度も実施する予定です。  
年度ごとに参加者を募ります。

Q4：本年度参加できた場合、来年度も続けて参加できますか？

A4：基本的には年度ごとに新規でのご参加を対象としておりますが、ご希望があった際に、内容によっては例外として検討いたします。

Q5：令和5年度までの事業に参加したことがあるのですが、本年度の事業への参加を申し込むことはできますか？

A5：できます。

Q6：事業の一部だけに参加できますか？

A6：すべての検査、研修会に参加されることが望ましいため、すべての項目に参加される方を優先します。

一部の事業への参加のご希望も伺いますが、各項目の一部のみの参加(1回目の検査を実施し、2回目はしない等)はご遠慮ください。

Q7：選考結果はいつ教えてもらえますか？

A7：9月上旬までにはご報告いたします。

選考は随時行い、定員に達し次第、募集を終了する場合がございます。

## 1. (1) 工房の環境検査について

Q8：環境検査の作業はどのように行えば良いですか？

A8：参加者には予め環境検査用の作業マニュアルをお送りします。

採材のための道具（拭き取り検査キット等）は、当協会が準備してお送りします。

※参加申込検討のために作業マニュアルをご覧になりたい方はご連絡ください。

Q9：事前に準備しておくものはありますか？

A9：検査を行う工房の見取り図をご準備ください（コピー、手書き可）。

Q10：作業を1日ですべて行うことが難しいのですが、数日に分けて行ってもいいですか？

A10：できるだけ1日で行っていただきたいのですが、ご都合が悪い場合は「落下菌検査」と「拭き取り検査」に分けて2日で行ってください。

例) 1日目に落下菌検査の作業を行う。

2日目に拭き取り検査の作業を行う。

Q11：日本乳業技術協会に採材をお願いできますか？

A11：ご希望をお伺いし、日程のご都合があれば実施させていただきます。

## 1. (2) 生乳の殺菌前後の微生物検査について

Q12：生乳を採取する際、気を付けることはありますか？

A12：生乳採取用のポリ容器の汚染防止のため、容器の内側を手で触れないでください。柄杓やビーカーなどの採取器具を使用して生乳を容器に採取する場合や殺菌機の排出バルブ等から採取する場合、二次汚染を防止するために、これら器具は事前に洗浄、殺菌を行い、よく乾かしてから採取してください（過去の事業において、殺菌はきちんとできていても採取器具等からの二次汚染がみられた事例がありました）。  
生乳はポリ容器の 80 mL ラインまで採取し、立てた状態で冷凍してください。80 mL 以上採取されますと容器が破損する恐れがあります。

## 1. (3) HACCP 模擬立入検査について

Q13：模擬立入検査の結果は保健所に報告されますか？

A13：いいえ。模擬立入検査の結果は保健所等に報告しませんが、模擬立入検査を行った工房につきましては、後日保健所の立入検査が行われた場合、結果の比較や効果検証のために、どのような結果であったか当協会に情報を提供していただきたくお願いします。あくまで当事業での参考として取り扱い、工房名等を外部にお知らせすることはありません。

## 2. 生乳と乳製品の検査について

Q14：検査に必要な数や量はどのくらいですか？

A14：下記の数量が必要です。

製造量が少ないなどの理由で十分な数量を準備できない場合は、ご希望の検査を優先するなどの対応をいたしますのでご相談ください。

### ◇ 乳製品

チ	ー	ズ	…	100 g	×	6 個	(※1)		
ヨ	ー	グ	ル	ト	…	200 g	×	3 個	
アイ	ス	ク	リ	ー	ム	…	200 mL	×	4 個
牛		乳	…	500 mL	×	6 本	(※2)		

※1 例えばチーズの場合は、同じ製造日で約 100 g のものを 6 個送ってください。1 個あたり 100 g 以上の場合、切り分けて送っていただいても構いませんが、個別に包装してください。

※2 牛乳の容量が 900 mL の場合は、900 mL×4 本送ってください。200 mL の場合は当協会にお問い合わせください。

### ◇ 生乳 … 100 mL × 4 本 + 1 L × 3 本 (計 7 本)

生乳採取用のポリ容器は当協会からお送りします。

Q15：乳製品だけ検査してもらえますか？

A15：原則、生乳とセットでのご参加をお願いしております。

Q16：チーズ、ヨーグルト、アイスクリーム、牛乳以外の乳製品の検査を  
してもらえますか？

A16：乳製品の種類を伺い、当協会では検査可能であれば承りますのでご相談  
ください。試作品でも検査を承ります。

Q17：製品（以後、検体。）はいくつでも検査してもらえますか？

A17：原則として乳製品 4 検体、生乳 1 検体とさせていただきます。  
乳製品の検査を 5 検体以上ご希望の際はご相談ください。

Q18：なぜ同じ検体を 2 回検査しなければならないのですか？

A18：原料である生乳の季節による成分の違いや製品の個体差などの要因により、1 回の検査結果がその製品全体を代表するものとは限りません。  
異なる製造時期の検体を検査してデータを増やすことによって、より適切な表示値の設定や衛生管理状況の把握等に役立てていただくためです。

Q19：検体の他に送るものはありますか？

A19：検査依頼書に必要事項をご記入いただき、検体に同封してください。

Q20：検査項目を追加できますか？

A20：ご希望の追加検査項目を、希望される理由とともに事前にご相談ください。  
ご希望に添えない場合もございますので予めご了承ください。

Q21：検査結果はいつもらえますか？

A21：検体到着から 3～4 週間後に郵送いたします。

Q22：検体はいつ送ればいいですか？

A22：検体を送っていただく日を当協会が設定してお知らせします。  
ご都合が悪い場合は調整いたしますのでご相談ください。

Q23：検体の配送条件（冷蔵など）はありますか？

A23：アイスクリームは冷凍便、それ以外の乳製品と生乳は冷蔵便でお願いします。必ず着払いで送付してください。発払いで送付された場合、送料は参加者の自己負担となってしまいますのでご注意ください。

Q24：検体を送る際に注意することはありますか？

A24：特に以下をご確認の上、発送してください。

- ①検査に必要な数量を入れたか
- ②中身の漏れなどが起きないように梱包しているか
- ③宅配伝票の内容（到着日、配送条件など）に間違いがないか

Q25：宅配業者の指定はありますか？

A25：ヤマト運輸の宅急便での送付をお願いしていますが、他社でも構いません。

検体送付用のヤマト運輸の着払い伝票は、当協会が用意いたします。

### 3. 期限表示設定のための検査・アドバイスについて

Q26：日本乳業技術協会が期限表示してくれますか？

A26：いいえ。期限表示設定の責任はあくまで製造者にありますので、参加者自身が期限表示を行います。当協会は期限表示を設定するための根拠となる項目についての検査を行い、期限表示のためのアドバイスをいたします。

Q27：検査してもらえるのは1検体だけですか？

A27：はい。期限表示のための検査は、検体を一定期間保存して複数回に分けて行うため、スケジュールの都合により1戸当たり1検体とさせていただきます。

Q28：検体を送る日は「2. 生乳と乳製品の検査」と同じですか？

A28：保存スケジュールや検体数確保の都合により変動しますので、別日の場合もあります。

#### 4. 衛生管理研修会について

Q29：研修会の開催日はいつですか？

A29：開催日は全参加者が決定した後、当協会から開催候補日をいくつか提示し、ご都合を伺い決定します。

Q30：研修会の参加も無料ですか？

A30：対面形式でご参加いただく場合の旅費（宿泊費含む）は当協会が負担しますが、自動車等の燃料費や個人の食事代は参加者にご負担いただきます。なお、当事業では各種割引運賃やパックツアーなどを積極的に利用することが求められていますので、経費削減へのご協力をお願いすることになります。

また、グリーン車やビジネスクラス等はご利用いただけませんのでご注意ください。

パックツアーや飛行機、宿泊のご利用については、領収書、航空半券をご提出いただき、その金額を負担します。鉄道利用については、移動経路に対する運賃を負担します。

参加者には予め会場までの移動経路と宿泊の有無について確認させていただいた後、旅費の適正範囲をご案内いたしますので、その範囲内でパックツアー等を手配していただきます。

オンラインセミナー形式で開催することになった場合、インターネット回線や新規端末等の導入等の各種費用や通信費用は参加者のご負担となります。

Q31 : オンラインセミナー形式による開催の場合、コンピューターやインターネット接続環境等の条件はありますか？

A31 : インターネットの通信速度が上り下りともに 30 Mbps 以上必要です。それぞれ 30 Mbps 未満の場合、映像や音声の品質が確保できず、映像や音声途切れることがあります。また、通信速度は一定ではなく、周囲の使用状況によって変化しますのでご注意ください。

オンラインセミナーは Google meet（ウェブ会議システム）を利用する予定です。希望される参加者は事前に当協会との通信テストを行うことができます。